

2026年3月29日 ルカ23：26－49

説教題 「何をしているのか、わからずにいるのです」

【今日の説教から】

今週は受難週です。今日の箇所には主が十字架におかかりになられた出来事があります。何度も人々は主をあざけり、嘲笑し、馬鹿にして言います。

「神のキリスト、選ばれた者であるなら、自分自身を救うがよい」。しかしイエス様が十字架に就かれ、あえて自分を救わずに世の罪を取り除くことが神様の御心でした。しかし人々にはそれが分かりませんでした。しかし私たちのため、主はこう祈り、贖いの羊とされました。

「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」

聖歌「君もそこにいたのか」

君もそこにいたのか

主が十字架に付くとき

ああ何だか心が震える

君もそこにいたのか

君も聞いていたのか

釘を打ち込む音を

ああ何だか心が震える

君も聞いていたのか

君も眺めてたのか

血潮が流れるのを

ああ何だか心が震える

君も眺めてたのか

君も気がついたのか

突然日がかげると

ああ何だか心が震える

君も気がついたのか

君も墓に行ったのか

主をば葬るために

ああ何だか心が震える

君も墓に行ったのか

皆様おはようございます。ついに受難週に入りました。気候は移り変わり、汗ばむような日差しが降り注ぐようになりました。今日も御言葉から主のご受難を噛み締めたく願います。

23:26 彼らがイエスをひいてゆく途中、シモンというクレネ人が郊外から出てきたのを捕えて十字架を負わせ、それをになってイエスのあとから行かせた。

23:27 大ぜいの民衆と、悲しみ嘆いてやまない女たちの群れとが、イエスに従って行った。

23:28 イエスは女たちの方に振りむいて言われた、「エルサレムの娘たちよ、わたしのために泣くな。むしろ、あなたがた自身のため、また自分の子供たちのために泣くがよい。

23:29 『不妊の女と子を産まなかった胎と、ふくませなかった乳房とは、さいわいだ』と言う日が、いまに来る。

23:30 そのとき、人々は山にむかって、われわれの上に倒れかかれと言い、また丘にむかって、われわれにおおいかぶされと言い出すであろう。

23:31 もし、生木でさえもそうされるなら、枯木はどうされることであろう」。

23:32 さて、イエスと共に刑を受けるために、ほかにふたりの犯罪人も引かれていった。

イザヤ54章の引用です。

54:1 「子を産まない不妊の女よ。喜び歌え。産みの苦しみを知らない女よ。喜びの歌声をあげて叫べ。夫に捨てられた女の子どもは、夫のある女の子どもよりも多いからだ」と【主】は仰せられる。

54:2 「あなたの天幕の場所を広げ、あなたの住まいの幕を惜しみなく張り伸ばし、綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ。

54:3 あなたは右と左にふえ広がり、あなたの子孫は、国々を所有し、荒れ果てた町々を人の住む所とするからだ。

54:4 恐れるな。あなたは恥を見ない。恥じるな。あなたははずかしめを受けないから。あなたは自分の若かったころの恥を忘れ、やもめ時代のそしりを、もう思い出さない。

54:5 あなたの夫はあなたを造った者、その名は万軍の【主】。あなたの贖い主は、イスラエルの聖なる方で、全地の神と呼ばれている。

54:6 【主】は、あなたを、夫に捨てられた、心に悲しみのある女と呼んだが、若い時の妻をどうして見捨てられようか」とあなたの神は仰せられる。

54:7 「わたしはほんのしばらくの間、あなたを見捨てたが、大きなあわれみをもって、あなたを集める。

54:8 怒りがあふれて、ほんのしばらく、わたしの顔をあなたから隠したが、永遠に変わらぬ愛をもって、あなたをあわれむ」とあなたを贖う【主】は仰せられる。

神様はご愛をもってイエス様を十字架に差し向けられました。苦しみが来る。どこにも救い

がない。しかし「あなたの贖い主は、イスラエルの聖なる方で、全地の神」。ここに恵みがあります。

23:33 されこうべと呼ばれている所に着くと、人々はそこでイエスを十字架につけ、犯罪人たちも、ひとり右に、ひとり左に、十字架につけた。

23:34 そのとき、イエスは言われた、「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」。人々はイエスの着物をくじ引きで分け合った。

23:35 民衆は立って見ていた。役人たちもあざ笑って言った、「彼は他人を救った。もし彼が神のキリスト、選ばれた者であるなら、自分自身を救うがよい」。

23:36 兵卒どももイエスをののしり、近寄ってきて酔いぶどう酒をさし出して言った、

23:37 「あなたがユダヤ人の王なら、自分を救いなさい」。

23:38 イエスの上には、「これはユダヤ人の王」と書いた札がかけてあった。

23:39 十字架にかけられた犯罪人のひとりが、「あなたはキリストではないか。それなら、自分を救い、またわれわれも救ってみよ」と、イエスに悪口を言いつづけた。

人々は執拗にイエス様をあざ笑い、馬鹿にし、悪口を吐きました。そして口々に「自分を救ってみよ」というのです。自分を救うことさえできない無力なものにどうやって私たちが救う力があるのかという論法でしょうか。あんなに人を救ったのなら、というところを見るのならば、その人は少なからずイエス様の栄光に満ちた力ある業を見てきたということでしょう。しかし人はその結末を見ます。そこに刑罰の死があるのならば、罪人としての死があるのならば、その人生は失敗だった、そこには尊ばれるべき所はないのではないだろうか。皆そう思ってイエス様を見下し馬鹿にするのです。

しかしイエス様はご自分からそこに赴いておられたのです。ご自分が世の罪を取り除く神の子羊としてご自分の命を明け渡されるがゆえ、その行いはみじんも無駄になることはありませんし、その行く末が敗北に終わったということは決してないのです。しかし人は浅はかで、そのような深い神様のご計画と深い恵みの御心に思いが至らないのです。

世の中は総出で「自分を救え」、それでこそあなたは正しいと認められると大合唱して、その手段を択ばず、自分を救うためならば他人を蹴落としてでもと殺気立っています。人のことはお構いなしで、「自分を救う」ということに突進しています。

「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」。

イエス様のお言葉が胸に響きます。

23:39 十字架にかけられた犯罪人のひとりが、「あなたはキリストではないか。それなら、自分を救い、またわれわれも救ってみよ」と、イエスに悪口を言いつづけた。

23:40 もうひとりは、それをたしなめて言った、「おまえは同じ刑を受けていながら、神を恐れないのか。

23:41 お互は自分のやった事のむくいを受けているのだから、こうなったのは当然だ。しかし、このかたは何も悪いことをしたのではない」。

23:42 そして言った、「イエスよ、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください」。

23:43 イエスは言われた、「よく言うておくれが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」。

人は生きよう生きようとしてます。自分が罪の身にあつて死ななければならない身であることを知らず、生きよう、自分を救おうと躍起になっていますが、そこには救いがありません。

「おまえは同じ刑を受けていながら、神を恐れないのか。

23:41 お互は自分のやった事のむくいを受けているのだから、こうなったのは当然だ。しかし、このかたは何も悪いことをしたのではない」。

私たちは死ぬべき罪人。しかしイエス様は何も悪いことをしていないのに、ここに十字架におられる。それは死ぬべき私のための救いとしてここにおられるのだ。死ぬべき罪人の私はこのお寛太におすがりするほかは道はない。神を恐れ、罪を認め、その罪に死ぬまきにその所で隣にあつて私の身代わりとして絶命されたこのお方をじっと見つめ、私の罪のために死なれたことを思い、感謝をもってこのお方をわが救い主と告白する。そうする者にはイエス様のこのお言葉がいただけるのです。

23:43 イエスは言われた、「よく言うておくれが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」。

23:44 時はもう昼の十二時ごろであつたが、太陽は光を失い、全地は暗くなって、三時に及んだ。

23:45 そして聖所の幕がまん中から裂けた。

23:46 そのとき、イエスは声高く叫んで言われた、「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます」。こう言つてついに息を引きとられた。

23:47 百卒長はこの有様を見て、神をあがめ、「ほんとうに、この人は正しい人であつた」と言つた。

23:48 この光景を見に集まってきた群衆も、これらの出来事を見て、みな胸を打ちながら帰って行った。

23:49 すべてイエスを知っていた者や、ガリラヤから従ってきた女たちも、遠い所に立って、これらのことを見ていた。

私たちはどのようにして主の十字架を見つめるのでしょうか。わが罪のためにと胸を打ちたたきながら、私たちは主の十字架を仰ぐのです。

聖歌「君もそこにいたのか」

君もそこにいたのか
主が十字架に付くとき
ああ何だか心が震える
君もそこにいたのか
君も聞いていたのか
釘を打ち込む音を
ああ何だか心が震える
君も聞いていたのか
君も眺めてたのか
血潮が流れるのを
ああ何だか心が震える
君も眺めてたのか
君も気がついたのか
突然日がかげると
ああ何だか心が震える
君も気がついたのか
君も墓に行ったのか
主をば葬るために
ああ何だか心が震える
君も墓に行ったのか

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。人々はイエス様を
あざ笑い、「神からのメシアで、選ばれた者なら、自分を救うがよい」

と言いました。イエス様が世の罪を取り除く神の子羊でおられることも知らずに、人は他人を見下して馬鹿にし、自分を利することばかり考え、人を犠牲にしてでも自分を救うことに終始していますが、そんな人々のため、主は「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです」と祈ってください、ありがとうございます。あらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン